

地球市民交流宣言

2005年3月25日、121カ国の参加を得て、国際博覧会「愛・地球博」がこの地で開幕しました。

世紀最初の国際博覧会となった「愛・地球博」は、国の威信や産業の革新を競い合う

それまでの博覧会から大きな変化を遂げました。

それは、人類が直面する地球的課題解決に貢献するという使命を負って開催された

はじめての国際博覧会だったのです。

夢あふれる21世紀の幕開けには、自然環境破壊による地球の危機が明らかになる中、

テロや戦争が世界中を悲しみで包みました。こうした中、愛・地球博では「自然の叡智」という

テーマを縦糸に、「地球大交流」の合言葉を横糸に、傷ついた地球を柔らかに包みこむ美しい

織物を織り上げようとの願いのもと、さまざまな挑戦がはじまりました。

185日間の会期を終えて閉幕を迎えた2005年9月25日、この地は、感動の涙と勇気にみちた

笑顔であふれました。多様な文化や価値観と接しながら共通のテーマに取り組んだ私たちは、

地球市民としての意識を持ち、人と自然、人と人との関係を立て直す希望を持つことができたの

です。

あれから5年、私たちは今日ふたたびこの地に集い、地球市民交流センターの開館の瞬間を

迎えています。このセンターが、愛・地球博の大きな実験の成果を実社会に船出させるための

港のような役割を担ってくれることを、私たちは願っています。

そのために、私たちはまず、以下の約束を胸にとめて、地球塩民交流センターを大いに

活用していきたいと考えています。

○自然の摂理に謙虚に学び、自然と人間、さまざまな文化と社会、そして技術と経済が調和した新たな文明を創造するための、あらゆる学びの機会を大切にします。

○知恵とちからを出し合って明るい未来社会を築くために、地域内外、そして世界に、広く、大きく、交流の輪を広げていきます。

○地球環境問題の解決に貢献する新しい技術や伝統的な技と知恵を楽しく学び、伝えていきます。

○環境負荷の高い生活スタイルを見直して、新しい社会行動やシステムを知り、広めていきます。

○あらゆる可能性の源である文化や価値観の多様性の存在を尊重し、多様性の愛し方を学び、伝えていきます。

○市民の参画をはじめ、行政、企業、教育・研究機関などが知恵を出し合い、学び合うことで、持続可能な社会を創るための楽しい交流と学びの手法を提供します。

このように、愛・地球博記念公園地球市民交流センターのオープンに際し、私たひとりひとりが地球市民として、立場、考え方、世代、地域や国を越えて連携・連帯し、持続可能な社会をつくるための多様な交流と学びの場を創ることを、ここに宣言します。

2010年10月1日 地球市民交流センター開館式典に集った地球市民代表